

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

MSWニュース 3月号

2021年3月1日発行
No105

事務局：沖縄県総合福祉センター
西棟2階 小規模団体室

〒903-8603

那覇市首里石嶺4丁目373-1

TEL 準備中

FAX (098) 893-1221

E-mail: Jim.msw.oaswhs@gmail.com

編集：大城将平

(沖縄リハビリテーションセンター病院)

MSW ニュースは毎月初めに MSW 協会ホームページに更新掲載されています

<http://www.msw-oaswhs.jp/>

今回でニュースの郵送を終了します

MSW 協会公式 LINE 加入のお知らせを確認して、加入してください。

☆contents☆

- ・MSW 協会初任者研修 A の参加報告.....P2~3
- ・MSWニュースのSNS配信についてのご案内新入会員紹介.....P3
- ・トピックス.....P4
- ・研修部たより.....P5
- ・2月理事会議事録.....P5~8

<休載>

在宅医療・介護連携報告、自主勉強会報告

研修報告

2020年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会初任者研修A 第1回目 翔南病院 地域医療連携室 高江洲 ひろみ

1月30日(土)にオンラインで開催されたMSW初任者研修A第1回に参加しました。

前半の講義では、社会背景を学び、より広い分野で業務を理解し実践につなげるという事で医療制度改革の変遷とMSW業務について学びました。

講義を通して、その時代の医療施策や保険医療の変化を知る事でMSWの役割と位置づけがどう変化してきたのかを理解する事ができました。また政策の方向性と医療ソーシャルワーク実践の課題をもとに、今後さらなる少子高齢化へ向けて政策を実現する為にはどうしたらいいのか改めて考える事ができました。

後半の講義では、実践ワークも交えながら記録について学びました。

私は主に前方業務に携わっているので実際に相談記録をとる機会はまだまだありませんが、講義を通して記録を書く事の意味や書くべき内容、記録の為にMSWに求められる能力について学ぶことができました。なかでも適切な表現については非常に勉強になり、今後の業務に活かしていきたいと思えます。

今回、講師を務めてくださいました樋口美智子先生、當銘由香さん、オンライン開催にあたり運営等で対応されたMSW協会事務局の皆さん、有難うございました。

一日も早くコロナが収束して、日々の業務や研修を通して皆さんとお会いできる時期が来る事を楽しみにしています。

MSW初任者研修1日目を終えて

医療法人大平会 介護医療院にしばる 長沼 映璃


MSW初任者研修を終えて、今回は初めてのZoomにて参加させていただきました。ネット環境があれば気軽に参加でき、遠方の人ともつながることができるのは大きなメリットだと思いました。研修では、前半に医療制度改革の変遷とMSW業務について、講師の樋口美智子氏の講義では社会福祉の変遷、社会福祉制度の背景、あらまし等の資料を使いながら分かり易く学ぶことが出来ました。制度の背景については、なぜこの制度が制定されたのか、時代的な背景とは何か、色々な社会的情勢の中で社会福祉士の役割や専門職としての位置づけについて理解するのは難しいと思いました。自分の職場において社会福祉士はどこに位置づけられ、またどの立場の専門職なのか、客観的にはどのような専門職としてみられているのか、広い視野での支援を行わなければ専門職としての意識、日々専門職として向上心を持って働くためには大切な事だと思いました。現在私は病院ではなく、施設の相談員として勤めています。病院などからの紹介を受け、入所の窓口となっています。実際に現場でMSWとして働く方達とは違う視点での専門職として、紹介から入

所までのサポートや支援をさせていただいています。家族との関わりが多く、入所面談ではご家族と紹介者との関係性やその背景等から今後の希望やどういった施設生活を希望しているのか、他職種と情報を共有しながら考えていかなければなりません。今後も専門職としての意識、専門性の向上に努め、改めてその職務について考えていかなければならないと思いました。

後半の講義では、講師の當銘由香氏より記録について学びました。記録の意味や種類、方法について学び、実際に現場ではどういった記録の方法があるのか学びました。まずは記録の意味を理解しなければどのように要約するのか、分かり易く相手に伝える方法を考えることは難しいと思いました。研修の中で実際に事例から記録をして、改めて記録の難しさに気がつきました。記録とは何か、意味を考え理解し、記録しなければ実際にまとめると相手に伝わっていない記録や不十分な記録となり、専門職としての意識も低下してしまうと思いました。また、同僚や同じ専門職の記録を参考にして、もっと良い記録にするにはどうすべきか、情報共有することも大切だと改めて考えさせられました。まだまだ経験も浅く、記録の実践も足りていないので、専門職としての向上心を忘れず、日々行っている記録ももう一度見直し、改めて学んでいく必要があると思いました。

MSWニュースのSNS配信についてのご案内

R2年度総会資料と一緒に、会員の皆さんへQRコードを郵送済みです。沖縄県MSW協会員の皆様は、下記の流れに従って登録して頂くよう案内いたします。

<p>使い方</p> <ul style="list-style-type: none">・タイムライン 研修報告など協会活動を見ることができます・トーク画面 協会からのお知らせを確認します・メニュー 協会ホームページ、研修、MSWニュースそれぞれのリンクにジャンプします	<p>友だち登録の方法①</p> <p>LINEを開く</p> <ol style="list-style-type: none">①左下の△（ホーム）をタッチ②検索欄に入力 「沖縄県医療ソーシャルワーカー協会」③「友だち追加」 <p>完了!!</p>	
---	---	---

友だち登録②

LINEを開く

- ① 検索欄の右端にある□のマークをタッチ
(QRコードリーダーが起動)
- ② QRコードに合わせる
→協会LINEにジャンプ
(QRコードは、5月総会案内と一緒に郵送済み
です。ご確認ください。)
- ③「友だち追加」

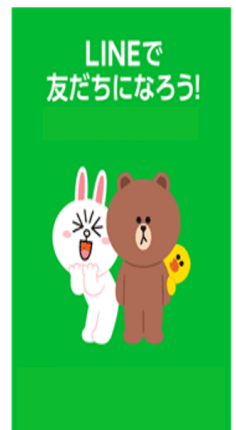
完了!!



ぜひ、協会LINEに友だち登録を!!

ご意見、ご質問は
広報部担当までお願いします

沖縄協同病院 地域連携課
長 (おさ) 098-911-5167
ハートライフ病院 患者総合支援センター
高澤 098-895-3255



トピックス

車の運転と高次脳機能障害

沖縄タイムスくらし相談(医療)2021年2月22日(月)掲載済
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 井上由美子

沖縄では車は必需品です。車の運転が出来ないと仕事にも買い物にもちょっとした外出にも支障が出ます。でも病気やけが、あるいは認知症で運転ができなくなることでありえます。

脳梗塞や脳出血などの脳血管疾患、転倒や交通事故などによる頭部外傷で脳にダメージを負うと脳の機能に影響がでることがあります。これを『高次脳機能障害』といい▽記憶力や注意力の低下▽物事の段取りができない▽感情のコントロールができない▽相手の気持ちがわからない▽普段使っている道具の使い方がわからなくなる—など、さまざまな症状が出ます。これらの症状は認知症の症状とよく似ています。

高次脳機能障害と診断されても手足は自由に動ける方はたくさんいます。そういう方は「仕事に戻ることに、運転することに」強く希望します。日常生活は送ることができても、とっさの判断や動作が可能か、標識や信号や人の動きがちきちんと認識可能かなど、運転にはいろいろな課題があります。運転に不安がある方や、道路交通法に定められた運転に支障を及ぼす恐れのある一定の症状を有する病気等に該当する方は、沖縄県運転免許センターや安全運転学校各分校で、運転適性相談を受けることも可能です。

入院中の場合は、まずは主治医へ相談してみることをお勧めします。運転できなくなると日常生活が不便になり行動の機会や範囲は狭まるかもしれません。しかし他の人を巻き込む事故になると、自分も家族も相手の方も不幸に陥ることになります。移動の代替手段や生活スタイルの見直し等については、家族や友人をはじめ、地域包括支援センター、ケアマネージャー、MSWらも力になってくれると思います。一人で悩まずまずは相談してください。

部会からのお知らせ

研修部たより

■2020年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会初任者研修 A (オンライン)

対象	おおむね実務経験3年未満の者。
日時	2回目:2021/3/6(土) 13:00~16:20
参加方法	オンライン(ZOOM)
参加費	会員:無料 非会員:各研修1科目につき 3000円
備考	※3/6のみ受講希望者がいましたら、問合せ先までご連絡ください。
問い合わせ	研修部 大久保 (琉大病院がん相談支援センター TEL:098-895-3331 代表)

🌸 其他のお知らせ



九州医療ソーシャルワーカー協会教育研修部公式 BLOG

「医療ソーシャルワークサプリー from 九州医療ソーシャルワーカー協会」更新中！

発行 2021年2月17日

研修部 大久保

理事運営会議事録

2020年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会

2021年02月15日(月)19:30~20:30

場所: @沖縄県

総合福祉センター

【出席者】新垣会長(司会)、秦副会長、當銘副会長、安慶名副会長、樋口、長(連絡)

伊禮(書記)、石郷岡、大久保 奥平、小橋川、香村

【委任者】山城、高江洲、井上

<各部報告・協議事項>

[研修部]

□初任者研修 A の開催報告を受け意見交換を行いました。

・参加者の満足度は高かったですが、運営上の課題が上がりました。今後改善に向けて取り組んでいくことを確認しました。

ZOOM 契約更新について提案をうけ承諾しました。

・「pro」: 今年度は3月でいったん契約終了。4月から再契約(3/22-4/1 までは使用できない)

・「ウェビナー」2021.1.18~2.18→契約終了。

デザイン事業専門職研修について報告を受けました。

日 時: 2021/2/24(水) 18:00~ ZOOM ウェビナー (ホスト・進行のみ集合)

対 象: MSW・退院調整看護師、包括・老健等職員、コーディネーター、その他関係職種

講 師: 玉木千賀子氏

テーマ: 「ヴァルネラビリティへの入退院支援のあり方」

申し込み: Google フォーム、締め切り: 2021/2/15(月) 12:00

参加予定者: 91 名(内スタッフ10名)

〔広報部〕

MSW ニュース 3 月号編集担当: 大城さん(沖縄リハビリテーションセンター病院)

※MSW ニュースの送付は 3 月号で終了、4 月以降は HP 掲載のみになります。

協会公式 LINE 加入者数: 114 名(2/13 現在)

協会ホームページアクセス数 1 月: 1,625 件(12 月: 1,033 件)

アクセス割合 PC: 53% スマートフォン: 47%

次年度計画に向けて報告を受けました。

・部会 MT 調整中。議題: 部長の変更、HP 更新作業の見直しなど行っていきます。

〔社会活動部〕

SW 学会: 運営費 幹事団体への事前支払い(3 万円)について提案を受け承認しました。

・事務局より幹事団体へ支払いを行います。

〔事務局〕

入退会報告

入 会 届 : 3 人

所属先変更: 0 人

退 会 届 : 1 人

会員名簿の管理方法及び会費未払いの会員の取り扱いについて提案を受け意見交換を行いました。

<その他 報告協議事項>

理事会: ちゃーがんじゅう課との報告会(ZOOM 開催)について報告を受けました。

・参加者: 22アカウントで、行政(沖縄市、宜野湾市、南城市、浦添市、八重山広域連合)、県外(福岡県 MSW 協会)なども含まれていた。アンケートは13アカウントから集計中。連絡票活用したいなど肯定的な反応が多かった。

□沖縄県入退院支援連携デザイン事業:事業の進捗について報告を受け意見交換を行いました。

1. 「心得」セット(パンフレット・ポスター・クリアファイル)の送付先について

地域包括支援センター(85)、県・広域連合(2)、保健所(6)、市町村(41)、県・地区医師会(8) 専門職団体(15)、病院・有床診療所(113)、訪問診療所(62)、編集WG・理事(23)、 普及啓発WG・PT(11) 介護老人保健施設(47)

特養(広域型)62ヶ所 と (地域密着型)14ヶ所の 計76ヶ所

※有料老人ホーム>>沖縄県有料老人ホーム高齢者住宅協議会のHPにアップとリンク依頼 中、県施設担当から集団指導時(3月オンライン・資料送付)にPDFで送付予定。

※居宅介護支援事業所>>介護支援専門員協会のHPにアップとリンク依頼中、県からメール 配信当での広報等ができるか調整中。役員に一旦送付も検討するが残部なし。次年度予算 で増刷後を調整。

※訪問看護ステーション>>沖縄県訪問看護ステーション連絡協議会と相談中。

※県MSW協会のHPには、2月末～3月初めにPDFをアップ予定。

2. 各圏域における「心得」説明会日程について(ZOOM開催予定)

3月 3日(水)19:00～中部地区医師会

3月 2日(火)19:00～南部地区医師会

3月 5日(金)19:00～那覇市医師会

3月19日(金)19:00～浦添市医師会

※宮古地区医師会>>年度内はコロナ禍の影響で不可とのこと

※八重山地区医師会>>日程調整中

※各圏域ともオンラインの予定で、15分くらい、「内容・活用の手引き等の説明と普及啓発のお 願い」で樋口のみ参加。

3. 2021年度デザイン事業案について

①2021年度事業受託に向け事業案を受け承認しました。3月初旬には事業計画を提出。

・オンライン研修での業者委託を検討しました。継続討議とします。

②人材養成:研修1 多職種研修、1回、80～100名、2021年8月、オンライン予定

研修2 専門職研修、1回、80～100名、2022年2月、オンライン予定

研修3 事例検討会、2回、30名、2021年5月・11月、対面・オンライン予定

③県からの事業内容案等:

・研修>テーマに特化する、例:コロナ禍における入退院支援等、2020年度多職種研修の 事例発表内容は良かった。

・事例検討会>「心得」の4事例(がん終末期、離島在住、施設入所、身寄りがない独居)を 取り上げる。

・「心得」の周知・普及啓発>今年度の説明会で、各圏域で増刷希望があれば、次年度予算 で増刷。各圏域での事例検討会等を兼ねて普及啓発する。

- 理事会:各部会での協会アカウント活用したオンライン会議開催の提案を受け承認しました。
- 理事会:理事及び部長職の職務規程の整理提案を受け承認しました。今後規定整備を進めていきます。
- 理事会:めだかの学校の次年度計画(4月～6月)に病院機能種別のオンライン学習会の開催ができないか提案していくことを確認しました。
- 南部地区医師会:3月予定の研修会に南部地区 MSW の推薦依頼を受け人選を進めていくことを確認しました。

※次回理事会 2021年03月15日(月)19:00～ @沖縄県総合福祉センター

司会:當銘 書記:高江洲 連絡:小橋川

議事録署名人 新垣 哲治

☆編集後記☆

福祉系の大学や専門学校の学生さんから、病院見学の依頼を受けることが増えてきました。今年度は、相談援助実習の受け入れ先を探すのが難渋したようで、特に医療機関は社会福祉士・精神保健福祉士ともに厳しい状況だったようです。そんな中でも医療ソーシャルワーカーに興味を持ち、少しでも情報を得たいと見学という形で門を叩いてくれるのは嬉しい限りです。

また、看護師やセラピストなど他のコメディカルも同様に臨床実習が少ない中で卒業・就職となるようで、例年よりもより手厚い指導期間を設けようと準備している機関も多く見受けられます。さあ～新しい年度がやってきます。コロナに負けず前に進み続けましょう！



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人

沖縄県医療ソーシャルワーカー協会

Okinawa Association of Social Workers in Health Services

<http://www.msw-oaswhs.jp/>

